

研究課題番号	5G-2301
研究課題名	大気に浮遊するアスベストの自動計測装置の技術実証
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	広島大学
研究代表者名	黒田 章夫

1. 評価結果

評価ランク：S

2. 委員の指摘及び提言概要

非常に困難な大気アスベストの計測にあたり、独自の生化学的な手法と組み合わせて、感度よくかつ誤差の少ない手法を確立した。計画当初の条件「精度の指標（正解率、再現率、適合率、F 値）についても、研究目標として具体的な数値を設定すること。」について十分に達成され、論文化もなされている。同等の性能がアスベスト以外の多種多様な繊維状物質を含む実用条件下でも再現できれば、きわめて実用性が高いアスベスト計数法となろう。実際の建築材料や解体現場の測定を通じて、アスベスト繊維以外の分析妨害の可能性について詳細な検討をお願いしたい。研究後半期では、測定システムの早期の実用化と、可能であれば早急の知的財産の取得も実施していただきたい。